

# おおむた 市議会だより

第198号

平成28年度  
9月議会

平成28年(2016年)11月1日発行

インターネット議会中継配信中  
過去の録画\*も視聴できます

大牟田市議会

検索

\*平成23年度以降



## 三川坑跡に移設された炭鉱電車

【主な記事】

- 平成28年度議会報告会を行いました／ぎかいの話題(2、3ページ)
- 第13回認知症SOSネットワーク模擬訓練／おおむた自慢(12ページ)

## ぎかいの話題

# 平成28年度議会報告会を行いました



【吉野地区公民館 8月5日】



【三池地区公民館 8月19日】

第6回議会報告会は、下表のとおり9会場で開催し、過去最高（281名）の市民の皆さんにご参加いただきました。

また、今年は全会場で要約筆記と手話通訳を行いました。

開催までにご尽力いただいた地域役員、関係者の皆様に感謝申し上げます。

一馬にした報告をしました。

後半では、市議会として平成27年度中に取り組んだ事例などについて報告しました。

質疑質問や決算特別委員会の中では、今回の報告会で寄せられたご意見も活かして、各議員が発言をさせていただきました。

今後も定例会や委員会をはじめ、あらゆる機会を通じて市政に反映させていきます。

## ●報告会の概要

今回の報告会では、1月の寒波による全市断水、4月に発生した熊本地震、さらには6月・7月の大雪による災害から、防災に関することに意見が集中しましたが、この他にもアンケートの意見を含め、約200件の多岐にわたるご意見を寄せていただきました。

現在、議会改革特別委員会を中心に寄せられたご意見の集約分類作業を進めています。

9月に開催された定例会の

報告会の前段に、昨年度の議会報告会で出された市行政に関する意見・要望のうち、行政より報告を受けた件について説明しました。

前半では、「寒波による断水」や「平成28年熊本地震などの災害から学ぶこと」をテ

## 平成28年度議会報告会 参加人数

開催日	会場	男性	女性	合計
8月1日(月)	総合福祉センター	14	20	34
8月3日(水)	勝立地区公民館	16	4	20
8月4日(木)	大正小学校	24	12	36
8月5日(金)	吉野地区公民館	42	8	50
8月10日(水)	労働福祉会館	6	2	8
8月18日(木)	駒馬地区公民館	22	12	34
8月19日(金)	三池地区公民館	18	12	30
8月22日(月)	三川地区公民館	17	5	22
8月27日(土)	手鎌地区公民館	33	14	47
合計		192	89	281

※報道関係者を除く



## 大牟田市の災害に対する取り組み

- ・災害対策基本法の基本的な考え方
- ・災害情報の伝達方法
- ・避難所の開設・運営
- ・要配慮者への支援



大牟田市の防災トented

## ■まちづくり・活性化特別委員会

### 設置の背景

- まちづくり総合プラン（新総合計画）
- 人口ビジョン
- まち・ひと・しごと創生総合戦略

### ↓ 策定時期

市議会で議論を深め、本市のまちづくりや活性化に期すため設置

（平成27年9月30日）

## ぎかいの話題

### 参加者のアンケート集計結果（抜粋）

回答者数 246人

[ ] は昨年の議会報告会での回答割合（昨年の回答者数229人）
○年代 20代以下 (0.0% [0.9%]) 30代 (1.6% [3.5%])
40代 (5.7% [5.2%]) 50代 (14.3% [13.5%])
60代 (31.0% [33.6%]) 70代～ (46.5% [41.5%])
無回答 (0.8% [1.7%])

#### ○開催日時について

- 参加しやすかった (78.0% [78.9%])
- 参加しにくかった (7.7% [11.4%])
- 無回答 (14.2% [9.6%])

#### ○内容について

- 満足 (11.8% [18.4%]) やや満足 (49.6% [41.2%])
- どちらでもない (20.7% [21.5%])
- やや不満 (7.7% [7.9%]) 不満 (0.4% [1.8%])
- 無回答 (9.8% [9.2%])

#### ○議会に関心が

- もてた (39.8% [43.4%]) 少しもてた (39.8% [36.4%])
- どちらでもない (8.1% [9.6%]) もてなかつた (2.0% [3.1%])
- 無回答 (10.2% [7.5%])

### ●議会研修会を開催

8月17日に議員の監視能力及び政策形成能力の向上等を目的に平成28年度議会研修会を開催しました。

今回の研修では、議会改革特別委員会の設置から7年が経過する中で、議会改革特別委員会の今後のあり方を含め、問題解決のための仕組みづくりを早急に検討し、実施していかなければならぬ時期を

迎えていることから、平成21年度に続き、再度山梨学院大学教授の江藤俊昭先生を講師として招き、実施したものです。

講演の中で、特に「議会改革は最終目的ではなく、住民福祉の向上が議員の最終目的」とする論点など、今後大牟田市議会として議会改革を進めながら、豊かさを実感できるまちを実現させていくための参考となりました。

江藤先生▶



8月17日 議会研修会の様子

### 委員会メモ

#### ふるさと納税

##### 【総務委員会】

9月2日の委員会で、ふるさと納税に対する返礼品の見直しを行い、通常コースと特別コースを設定する旨の説明を受けました。

ふるさと納税については、本市の自主財源確保のほか、様々な地域経済への波及効果も期待されます。

#### おおむた健康

##### いきいきマイレージ事業

##### 【市民教育厚生委員会】

9月1日の委員会で、10月から健康・生きがいづくり、地元消費喚起の促進に向けて開始する旨の報告を受けました。事業に参加しポイントを貯めると、サービス付のマイレージカードの交付や、抽選により賞品が進呈されます。

#### 若者の定住促進

##### 【都市環境経済委員会】

8月30日の委員会で、UIJターン若者就職奨励事業についての説明を受けました。この事業は、本市に転入する若者が賃貸住宅の家賃を負担する場合に奨励金を交付することにより、人材の確保と定住の促進等を図るものです。

#### 議会報告会で寄せられた意見・要望

##### 【議会改革特別委員会】

8月の議会報告会では、防災に関する意見・要望が多い中、議会報告会に関することや、議会に関するご意見もありました。

今後は、これらの意見に対応するため、改善を含めて検討していきます。

#### まちづくり総合プラン

##### 【まちづくり・活性化特別委員会】

8月31日の委員会で、まちづくり総合プランの進捗管理について、基本的な考え方等の説明を受けました。

また、まちづくり総合プランの中でも早急に取り組みを進めるべき項目について、委員間討議を行いました。

## 本会議運営のあらまし

### 本会議運営のあらまし

#### 大牟田市選挙管理委員の選挙など

9月議会

平成28年度9月議会は、9月5日に招集され、9月29日までの25日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、6億8,431万8千円を追加す

る一般会計補正予算などの議案22件、報告6件、意見書案の発議11件、大牟田市選挙管理委員の選挙2件の計41件でした。

本会議では、コールセンター設置、RDF発電事業、市民の安心・安全などの諸課題に10人の議員が登壇し、市長

をはじめ当局に質問しました。

また、27年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議3件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、認定または、決定して本会議を閉会しました。

### 決算特別委員会のあらまし

#### 災害時における要配慮者への対応への要望

議員全員で構成する決算特別委員会（古庄和秀委員長、塩塚敏郎副委員長）を設置し、27年度の各会計決算関係議案7件について、9月20日から26日までの4日間にわたり、慎重に審査しました。

審査の結果、66項目の意

見・要望を盛り込んだ委員長報告書をまとめ、本会議最終日に全ての決算関係議案を認定しました。

このうち、災害時における要配慮者への対応については、全議員により合意形成が図られ、市長に回答を求めることがしました。

#### 平成27年度各会計決算の概要（1万円未満四捨五入）

一般会計及び特別会計	歳入	歳出
一般会計	563億7,816万円	555億9,421万円
特 別 会 計		
国民健康保険	185億7,141万円	186億5,010万円
介護保険	129億7,092万円	128億3,664万円
後期高齢者医療	20億1,569万円	19億7,866万円
病院事業債管理	16億5,703万円	16億5,703万円
事業会計	収益的収入	収益的支出
水道事業	27億3,046万円	25億1,035万円
公共下水道事業	34億9,271万円	31億7,655万円

#### 議会日誌（7月～9月）

【7月】	12日 市民教育厚生委員会 13日 議会改革特別委員会 15日 議会報編集委員会 26日 まちづくり活性化特別委員会
【8月】	3日 各派代表者会、議会運営委員会 10日 都市環境経済委員会 17日 まちづくり活性化特別委員会 29日 各派代表者会、議会運営委員会 30日 都市環境経済委員会 31日 まちづくり・活性化特別委員会
【9月】	1日 市民教育厚生委員会 2日 総務委員会 5日 第2回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会 9日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、議会運営委員会 12日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会 13日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会 14日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会 16日 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、決算特別委員会、議会報編集委員会 20日 決算特別委員会 21日 決算特別委員会 23日 決算特別委員会 26日 決算特別委員会、起草委員会 27日 起草委員会 28日 起草委員会 29日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔決算議案採決、閉会〕

#### 行政視察受入（7月～9月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
7	12	三重県	鈴鹿市議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	15	茨城県	茨城県議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
	21	徳島県	徳島市議会	大規模小売店舗設置者の地域貢献
	22	東京都	羽村市議会・瑞穂町議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
8	25	長崎県	対馬市議会	議会基本条例の制定までの経過と運用状況、課題
	2	兵庫県	明石市議会	公共施設配置適正化の取り組み
	4	千葉県	流山市議会	認知症SOSネットワーク模擬訓練
	8	東京都	福生市議会	認知症の人とともに暮らすまちづくり宣言2015
	9	宮城県	大河原町議会	議会改革の取り組み
9			なし	

#### 合意形成を図った最重要の要望（全文）

1. 災害時における要配慮者への対応については、府内で連携した要配慮者名簿の作成を早急に進めるとともに、民生委員・児童委員を初め関係団体や事業所等とも協議しながら、地域の状況も反映した現場で活用できる名簿の作成を含め、実態に即した実効性のある仕組みづくりに取り組まれたい。

#### インフォメーション

##### ■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

##### ■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成23年度以降）を視聴できます。

##### ■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。12月上旬から閲覧できます。ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。

## 議案等の審議結果

議員名 議案等名	自由民主党議員団					公明党議員団					社民・民進・護憲 クラブ			日本共産党 議員団			無所属			賛 成 数	審 議 結 果					
	徳永春男	今泉裕人	境公司議長	田中正繁	光田茂	森童子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋	城後徳太郎	塚本二作	中原誠悟	森遵	
発議第10号	安保法制の発動を中止するよう求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第11号	社会保障制度の改悪中止を求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第12号	組織犯罪処罰法の改正案、いわゆる共謀罪法案の提出の中止を求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第13号	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	多数可決
発議第14号	慎重な憲法論議を求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	13	多数可決
発議第15号	返済不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	多数可決
発議第16号	無年金者対策の推進を求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	多数可決
議案第16号	平成27年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	認定
議案第17号	平成27年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	認定
議案第18号	平成27年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	認定
議案第19号	平成27年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	認定
議案第30号	大牟田市農業委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した会派（または議員）を○と表記し、それ以外の会派（または議員）を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることができません。

下記議案等については全員賛成で可決、認定、決定されました。

議案第20号 平成27年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について

議案第21号 平成27年度大牟田市水道事業会計決算の認定について

議案第22号 平成27年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について

議案第23号 平成28年度大牟田市一般会計補正予算

議案第24号 平成28年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算

議案第25号 平成28年度大牟田市介護保険特別会計補正予算

議案第26号 平成28年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第27号 平成28年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算

議案第28号 大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第29号 大牟田市排水ポンプ場維持管理基金条例を廃止する条例の制定について

議案第31号 大牟田市黒崎漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について

議案第32号 大牟田市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第33号 大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第34号 大牟田市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第35号 大牟田市校区コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第36号 財産の取得について（手錠南川河川改良事業用地）

議案第37号 過疎地域自立促進計画の変更について

発議第17号 同一労働同一賃金の実現を求める意見書案

発議第18号 有害鳥獣対策の推進を求める意見書案

発議第19号 鉄道の安全・安定輸送及び地域を支える鉄道の発展を求める意見書案

発議第20号 国としての子供の医療費無料化の制度化を求めるとともに国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティーをやめることを求める意見書案

選挙第1号 大牟田市選挙管理委員の選挙（小山弘之氏、桑畠貢氏、吉田義春氏、井手保氏）

選挙第2号 大牟田市選挙管理委員補充員の選挙（森本正人氏、松永浩氏、瀬口恵介氏、長野スミ子氏）

## 代表質問

# 市民窓口の外部委託計画は中止を求める



### 2023年度以降のRDF発電事業継続の考えは

**問** 同発電事業継続に係る県からの意向打診について、市長の考えを聞きたい。

**答** 試算では、処理委託料が大幅に増加することになっており、非常に厳しい内容であると感じている。

**問** 事業継続した場合、採算性が不確実で10年間の運営は極めて困難だと思うが。

**答** 大変厳しい試算内容になっていると感じている。

**問** 県への回答においても、検討・判断できる資料がそろっていない、期間が2カ月しかない、議会での議論を保障するよう求めたいが。

**答** 資料等については、県などに提出を求めていきたい。



RDF発電所

**問** 今後の大牟田・荒尾RDFセンターのあり方は。

**答** これからの協議次第で継

続使用か、新たなごみ処理施設の建設かの検討を始める必要がある。

**再発言** 検討に当たっては、本格的なごみ減量計画の実施、環境にやさしい処理方式を求める。

### コールセンター設置見送りの理由は

**問** コールセンター設置見送りまでの検討内容は。

**答** 市民アンケートで48%が必要ないと回答、費用対効果も示しにくいことなどから見送りとした。

**問** 効率的な行政を進める業務最適化計画の見直しが必要。市民からコールセンターの外部委託に反対の声も寄せられた。市民との間に感覚や意識の乖離があるので。

**答** 今回の教訓を共有して今後の業務に生かしていきたい。

### 市民窓口の外部委託は問題だ

**問** 市民窓口の外部委託計画の検討状況を聞きたい。

**答** 個人情報保護や偽装請負などの課題に対処する必要がある。先進自治体を参考に検討している。

**問** 内閣府の住民票異動の外部委託等の調査結果では、個人情報の扱いや経費削減の効果がないなどの理由で多くの自治体が実施していないか、

検討の結果、実施しないとしている。市民窓口の外部委託は、市民や職員のためにもならず中止するべきでは。

**答** 課題を検証しながら取り組んでいきたい。

### 市民生活に寄り添った納税相談に

**問** 回収が困難な債権を債権回収会社に委託する計画はどうなっているのか。

**答** 使用料や手数料の滞納が増加している。市民負担の公平性を確保するために、基準を決め専任部署で対応することで効果を期待する。

**再発言** 国保税の滞納者が1,918人、市民税の滞納者が3,901人など市民生活は大変苦しい状況。市民生活の実態に即した、福祉との連携による納税相談の充実を求める。

### オスプレイ等佐賀空港配備計画による市民への影響は

**問** 佐賀空港へのオスプレイ配備が計画されており、本市も悪天候時の飛行ルートに入っている。

本市への影響の認識は。

**答** 現時点では本市への影響が大きいとは言えないと思う。

**再発言** 柳川市でも市民生活への影響が心配されている。

大牟田市議会も平成24年9月にオスプレイの低空飛行訓練の中止を求める意見書を可決した。市民の安全を守る立場から情報の収集と市民への周知を強めるよう求める。

## 代表質問

# 市民が求める 政策予算の見直し



## 硬直化した政策予算の見直し

**問** 財政難時の予算枠配分の削減に伴う予算の検証と、市民が求める強弱のある政策予算全体の見直しをするべきと思うがどうか。

**答** 総合計画のアクションプログラムで掲げている事業の中には政策予算として財政計画の見直しも伴うことから、どこまで大幅に、大胆に出来るかわからないが、市民の皆さん方が非常に大事だと思っているような事柄等についても、しっかりと見直しを行い、メリハリのある予算としていきたい。

## 市職員のモラルと意識改革

**問** 市職員の不当な時間外手当受給は、モラルの欠如であり、これは市職員全体の抑止力で防ぐべきではないか。

また、支給した管理体制にも責任があると思う。

さらに、職員の意識改革については、積極性が足りず、やれることを先に言い訳することから、前向きな言葉や

姿勢が見えない。

多くの市民は、もっと積極的な態度で職務に臨んでほしいと思っているが、何か積極的にやっていけない

問題があるのか聞きたい。

**答** 本件は、行政運営に対する信用を失墜させる行為であり、今後二度と起こらないよう再発防止に努める。

また、私も住民の皆さん方から職員が必ずしも積極的でないと聞いており、就任後の訓示の際など積極的に打って出よ、責任は私がとると言っている。

公務員は、基本的に受動的な立場に立ち、できない理由をあげることが非常に上手だが、その発想を変えていく意識改革が必要で、今後もそういう視点で職員を指揮監督していきたい。

## 学校再編後の跡地活用

**問** 来年4月の勝立・米生中再編による勝立中学校跡地は、玉川地区からの通学路や、本市南東地区の集合拠点づくりとなることから、グラウンドはサッカー専用場、体育館は地域コミュニティーの場に活用し、また老朽化した地区公民館の移転建設をすべきでは。

**答** 勝立中跡地活用については、地元玉川校区よりコミュ

ニティーセンターとして活用したいとの話を伺っている。

スポーツでの活用は、施設の維持管理や経費等の問題・課題を整理しながら、実現性の検討を行っていきたい。

## 新商品開発、販売力強化 支援事業

**問** 地元小規模事業者の体力は弱っており、新商品開発・販売力強化支援事業での1回10万円の補助金をさらに拡大し、ステップアップする国の事業などはないか。

**答** 初めて補助制度を活用する事業者にも申請しやすい制度としており、本制度の活用を第一歩とし、次の段階で国や県などの支援策にステップアップできるよう考えている。

## 市制100周年記念事業 大相撲大牟田場所開催



**問** 市制100周年記念スポーツ振興事業として開催される大相撲大牟田場所に、市長からのコメントを。

**答** 相撲ファンなら一度は目の前でと思うのでは。私も大いに期待し、成功裏に事業ができるよう、一生懸命頑張る。

## 代表質問

# 移住政策を成功させる魅力ある情報発信を



公明党議員団  
今村 智津子 議員

### 新たな人の流れをつくる観光

**問** 大牟田観光マーケティングセミナーでは、福岡都市圏在住の20歳以上の男女300名を対象にインターネットでアンケートをした結果と分析が示されたが、どのように捉え、どのように生かして行くのか。

**答** 大牟田市の観光に関する情報接触が希薄であることや認知度が低いことが指摘されており、情報発信不足が要因と捉えている。

6月の福岡銀行本店におけるPR、7月の観光ガイドブック「まるっと大牟田」の発刊、ホームページでの情報発信に取り組んでいる。また、モニターツアーのほか、9月からは新たにバスツアーの補助制度を創設するなど、様々な情報発信の手段を活用し、積極的に市のイメージ向上に努めていく。

**問** 海外の人を呼び込んで、インバウンド効果を狙うことにも必要では。

**答** 福岡県と筑後地域の12市町で構成する筑後田園都市推進評議会観光部会において、

新たに外国人観光客をターゲットとしたモデルコースの設定やブログなどによる情報発信を行う。(仮称) 大牟田観光事業推進協議会を設立し、取り組みを進めたい。

### 定住促進

**問** 7月にオープンした、ふくおかよかとこ移住相談センターにおける本市の情報は。

**答** 移住者への支援策、ユネスコスクールに加盟した特色ある小中学校教育など本市の特徴的な取り組みや魅力について幅広くセンターへ情報提供しており、新しく制度化したU I J ターン若者就業奨励事業や45歳以上を対象とした就農支援事業の取り組み、最新のPR資料などを直接持参し説明した。定住化につながるよう取り組んでいく。



### 平成35年度以降の大牟田リサイクル発電事業

**問** 福岡県から参加組合に対し、組合側が事業主体となりRDF発電事業を継続する意

向があるかについての検討依頼があったが、市長の見解は。

**答** 産炭地域振興策としての位置づけの観点、また、平成35年度以降における本市の効率的、安定的なごみ処理の観点からも、早急に今回の依頼内容の検討を行う。必要に応じて福岡県や電源開発などの関係者と協議していく。

### 防災の拠点となる市庁舎の建て替えと機能充実

**問** 予定を前倒しし安全性などの確認のため旧館、新館、南別館、保健所など、耐震診断を実施予定だが、今後、建て替えをする場合は、集約(縮充)するのが常とう手段と思うが市長の考えは。

**答** 調査結果をもとに、今後、耐震改修か、一部または全部建て替えか、様々な観点から検討する。公共施設維持管理計画では、他施設との統合、整理を図り、必要最小限の更新を実施することを基本方針としている。

### 被災者支援システムの導入

**問** システムが導入されていながら運用が適切になされず、いざというときに十分使えなかつた事例もあるが、災害時にきちんと対応するためには大変重要なシステムである。

本市でも導入の方向性と聞くが、進捗の状況は。

**答** システムの調査、研究を行い、災害時に実践的に使えるシステムを検討していく。

## 代表質問

# 市民の安全・安心と人権のまちづくりを



## 市長の政治姿勢と まちづくり総合プラン

**問** 業務最適化計画に基づき、本年度計上されたコールセンターについて、議会から再検討を求め、見送るという方針が出された。改めてその経過を聞きたい。

**答** 様々な調査結果を受け、現時点で費用対効果を明確に示しにくいこと、市民ニーズが高いとは言えないことなどから、今年度は見送ることにした。

## 安全・安心と熊本地震、 台風10号の教訓と課題

**問** 1月の緊急断水、4月の熊本地震、9月の台風10号など、想定していない災害に備える必要性があり、減災政策を進めが必要である。

特に、昨年3月、仙台市で開かれた国連防災世界会議で注目された新たな防災の考え方、インクルーシブ防災の観点を広めていく必要がある。考えを聞きたい。

**答** インクルーシブ防災とは、誰も排除されない防災という意味だと思う。避難所では、

介助を必要とする人や集団生活の中で適応できない人、授乳等でプライバシーの確保が必要な人、赤ちゃんや小さな子どもなど、様々な配慮を必要とする人々を含め、皆で安心して過ごせる避難所運営が大切だと思う。

**問** 災害時要配慮者のうち、ご近所支え合いネットに未登録の方々に登録を勧める必要があるが、考えを聞きたい。

**答** 1月の緊急断水時も混乱が生じたため、地域の方々と協議をしながら、統一化された名簿への登録を促していく。

**問** 福祉施設の災害時の避難などは基本的には各施設の対応であるが、熊本地震、台風10号の教訓から、情報の共有や連携のためにも、民間の福祉事業所と協働での防災減災協議会等を設立する必要があるが、考えを聞きたい。

**答** まずは各事業所が抱えている災害対応時の課題について把握を行い、事業所間の情報共有や連携について議論をしていきたい。



**問** 高齢者が多い本市では、多くの事業所と福祉避難所の協定を締結予定だが、災害時に事業所の利用者以外にどれくらいの要配慮者を受け入れられるか、また、どれくらいの人的な支援が必要かなど、事前協議が必要と思うが、考えを聞きたい。

**答** 協定締結の際には、入居者やデイサービス利用者等も把握し、受入可能人数や人員体制などを精査していく。

また、人的な支援についても、関係機関と連携し、被災していない事業所や市外からの協力が得られるような仕組みづくりが必要と考える。

## 相模原障害者施設殺傷事件 と人権尊重のまちづくり

**問** 事件について、市長の考えを聞きたい。

**答** 大変痛ましい事件であり、この事件の悲しみと憤りを乗り越え、差別・偏見のない共生社会の実現を目指し、障害のある方の自立と社会参加の支援のための施策を一層推進していかなければならない。

## これからの高齢者の生活と 介護保険制度の改正

**問** 国民年金で暮らしていく住環境を整備する必要があるが、考えを聞きたい。

**答** 重要な課題であり、10月から国の補助事業を活用し、不動産業者、地域包括支援センター、居住支援協議会などと連携し、住宅確保及び生活支援体制を構築していく。

## 一般質問



### 就学援助制度の拡充を

**問** 制度運用の現状と課題を聞きたい。

**答** 小中学生の約1,200名、約15%に就学援助を実施してい



### まちづくりの観点で 小中一貫校の実現を

**問** 松原中・大正小・中友小の小中一貫校は、市民の要望もあり、まちづくりの観点からも捉えるべき課題と思うが、



### 次世代に選ばれる まちになるための方策

**問** ふるさと納税の返礼品を8月からリニューアルしたが、その内容と効果は。

**答** 今回のリニューアルでは、

る。子どもの貧困対策の観点から、制度拡充の検討の必要があるが、財源確保が大きな課題と考える。

**問** 新入学用品費の3月支給を実現すべきだと思うが。

**答** 3月支給を県内4市が実施。事務量の増加や返納が生じる場合があり、他市も参考に調査・研究していく。

### 熊本地震の教訓 生かした防災対策を

**問** 県は想定被害者の1日分の食料備蓄目標を持っている

市長の考えは。

**答** 小中一貫校はメリットがある反面、課題も多数あるという報告もある。今後も十分な調査研究が必要と考える。

**再発言** 保護者や地域の方々との意見交換やきめ細かく情報提供も行いながら取り組んでいただきたい。

### これからの100年に 向け元気と活気を

**問** 市制100周年は、本市を市内外にアピールする絶好のチャンスと思うが、明治日本

10品目から81品目へ大幅に品数をふやした。寄附実績は、7月は8人の方より19万円の寄附が、8月は357人の方々から473万5,000円と増えており、昨年同月比でも約10倍となっていることから、一定の効果があったと考えている。

**問** 地域おこし協力隊員の今後の活用予定は。

**答** 市外の人材を受け入れ、その定住・定着を図ることで地域の活性化を図り、地域力の維持・強化が期待できることから、今後は府内各部でも

が、本市の備蓄状況はどうか。

**答** 平成33年度までに9,000食を確保する予定だが、現在約5,000食を保有している。

### 新栄町駅前地区 再開発事業は慎重に

**問** 計画は西鉄駅東側との回遊性が弱い。100億円以上の計画であり、費用対効果の検討が必要だと思うがどうか。

**答** 現在は駅前と東側をつなぐ計画になっていない。まずは事業を進め、その地域の活性化を第一に考えたい。

の産業革命遺産を構成する8県11市が集う会合などの働きかけを本市からできないか。

**答** 開催市自体や遺産の理解を増進してもらう意味でも、例えば持ち回りで開催するような働きかけを行いたい。

**問** 大蛇山は、音と光と動きの三要素が揃った素晴らしいまつり。今までの100年と今後の100年を掛け、1万人総踊りを実現し、盛り上げては。

**答** 市民がつくり上げるまつりとして昇華させることは必要。達成に向けて努力したい。

幅広く活用を検討していく。

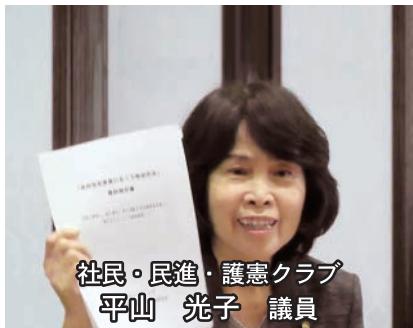
### 交流を通した人づくりで 持続発展可能なまちへ

**問** 本市のE S Dの教育を通じた交流の実態は。

**答** 各学校においてE S Dを通した学校間交流を進めており、全国さまざまな地域との交流が広がってきてている。

**問** E S Dの推進に対する市長の見解は。

**答** 様々な部署で同様の考え方を根底に持って事業を進め事が肝要だと考えている。



混合名簿は区別が当然という意識を定着しないための配慮

**問** 出席簿等の公簿で混合名簿を実施している学校数は。

**答** 小中学校、特別支援学校30校のうち23校で使用され



### 農業・漁業の担い手の育成

**問** 農業・漁業就業希望者とともに事業を始める際の負担はかなり大きいと思うが、本市の負担軽減措置はあるか。



### 安心・安全なまちづくり

**問** 断水、地震、水害からの教訓について聞きたい。

**答** 市民から多くのご意見をいただきしております、安心・安全

ている。

**再発言** 各学校で研修を深め、男女共同参画についての理解が進むよう、市教委の積極的な指導・助言を要望する。

### 本市の不登校問題は深刻 割合は全国や県の倍近い

**問** 本市の不登校児童生徒の現状について見解は。

**答** 平成27年度は小学校56名、中学校131名が不登校。厳しい状況にあると認識している。

**再発言** 不登校の出現率は全国や県平均に比べて倍近い。

**答** 新規就農者には、中高年就農給付金制度を9月から実施し、農業よりも負担が大きい漁業は、ノリ加工の協業化を推進している。

### 立地適正化計画と 公共交通ネットワーク

**問** コンパクトシティの推進は、市の財政状況下では、現行の市民サービスを提供しつつ、集約型都市にするのは、困難と思うが市長の考えは。

**答** 地区、地域に拠点を設け、その拠点を結ぶことで全体を

なまちづくりを進めていく。

**問** 本庁舎、勝立・中央地区公民館の建て替えの考えは。

**答** 本庁舎の建て替えに最低でも20億円の基金が必要で、積み立てている経過がある。地区公民館は地域の防災拠点であり、早期解決に取り組む。

### 子育て支援

**問** 弟妹の途中入所に対応するため、保育士の確保に人件費補助金の交付はできないか。

**答** 国が支援制度の導入を検

本市の特徴的な取り組みはやり過ぎるとマイナスではないか。子供にかかる教師の時間を奪ってないか。安心して学べる楽しい学校づくりを進めていただきたい。

### 整備が遅れている学校 トイレの改修・洋式化を

**問** 学校トイレの洋式化の割合と今後の改修計画は。

**答** 全部洋式が6%、50%以上が27%、50%未満が67%の状況。全部の学校で50%以上になるよう取り組みたい。

コンパクト化したい。

市街地の再整備も一部必要かもしれないが、全体の区画整理を行わず、現在の形を活かしつつ、交通計画を行えば、費用は低減でき、将来に向かって一定可能と考える。

### コールセンター

**問** 関心度の高いコールセンター設置について今年度以降の調査や実施スケジュールは。

**答** 現時点では白紙であり、調査等の予定はない。

討中。状況等を注視したい。

**問** 国の業務効率化推進事業交付金を活用し、保育所の防犯カメラを設置してはどうか。

**答** 本市の負担もあることから、検討したい。

### 交通政策基本計画

**問** 交通政策基本法の成立、交通政策基本計画の閣議決定を受けて、本市の交通政策基本計画をつくるべきでは。

**答** 29年度に地域公共交通網形成計画を策定する予定。

## おおむた自慢



### 「認知症になっても安心して暮らせるまち」へ 第13回認知症SOSネットワーク模擬訓練



## 大牟田市から全国へ

本市では、高齢化の進展に伴う認知症高齢者の増加に対応した支援の取り組みとして、平成16年度から毎年SOSネットワーク模擬訓練を開催しています。この訓練は、行方不明となった認知症の人の捜索のためのネットワークづくりの一環として、行政をはじめ、郵便局・銀行・交通機関など

の企業・事業者によって構成される「大牟田地区高齢者等SOSネットワーク」を中心に、地域関係団体との連携により進められており、現在では、市内全小学校区で開催されるようになるなど、全国的にも注目される取り組みとなっています。



米生中学生による声かけ



米生中学生による声かけ

今年の訓練は、9月18日(日)に市内全域で行われ、

## 今年の校区実行委員会の訓練実施状況【速報】

全国各地から約140の方が視察に訪れました。

1. 訓練参加校区 19校区
  2. 訓練参加者 2,002名
- ※ 捜索活動の協力者 1,622名 + 当日のスタッフ数 380名
3. 情報伝達の協力者 908名
  4. 捜索活動協力者 1,622名
  5. 声かけ人数 1,185名
- ※ 本部外出役 3名 + 校区外出

役 109名

6. 情報伝達所要時間 25.2分

※ 各校区情報の発信開始から末端の伝達対象者への到着までのあおよその平均所要時間。

(注意) 各数値は9月18日までに集計ができた校区による速報値であり、今後変更がある旨ご留意ください。



宅峰中学生による声かけ

## 大牟田市の認知症の人を支える取り組みに参加してみませんか?



認知症SOSネットワーク模擬訓練が開催される9月の1ヶ月間に、のぼり旗を設置しています。趣旨に賛同いただける場合は、のぼり旗の設置のご協力をお願いします。

◎普及啓発のための「のぼり旗」の設置

**【お問い合わせ】**  
**大牟田市長寿社会推進課**  
**☎ 0944-41-2672 (直通)**